

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 620303	安心ステーション推進事業費				主管課名	防災安全課				
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域				課長名	近藤 友久				
		施策	地域力を高めて安全で安心して暮らせるまち									
		基本事業	犯罪の防止・防犯意識の高揚									
(1)事業の概要												
安全で安心して住めるまちづくりを目指し、「安心ステーション」を建設し、地域住民の安全安心を図る。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単 位				
						施設利用者人数		人				
						その指標						
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		安心安全なまちづくりを目指し、警察とは違った立場から、交通防犯指導員を雇用し、交通安全及び防犯のパトロール業務、啓発業務及び相談業務等を行う。										
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容										
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
市民						名 称		単 位				
						人口		人				
						その指標						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
・交通事故発生件数を減少させる。 ・犯罪発生件数を減少させる。						名 称		単 位				
						交通事故件数		件				
						犯罪件数		件				
						その指標						
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
犯罪に巻き込まれ、犯罪被害者にならないよう防犯意識の高揚を図る。						名 称		単 位				
						交通安全教室の開催数		回				
						防犯教室の開催数		回				
						その指標						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		人	191	223	500	500	500	500				
(6)の対象指標		人	58,216	58,762	60,600	61,400	62,500	63,700				
(7)の成果指標		件	296	292	290	290	290	290				
		件	1,124	1,129	1,100	1,100	1,100	1,100				
(8)の結果の成果指標		回	33	33	33	33	33	33				
		回	3	5	5	5	5	5				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	02	項	01	目	13
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	24,222	534	628	628	628	628				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	24,222	534	628	628	628	628				
人件費B		千円	1,477	1,504	1,504	1,504	1,504	1,504				
正職員従事時間×人数		時間×人	200×2	200×2	200×2	200×2	200×2	200×2				
正職員以外の人件費		千円	1	1	1	1	1	1				
その他費用C		千円	44	0	0	0	0	0				
トータルコストA+B+C		千円	25,743	2,038	2,132	2,132	2,132	2,132				
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	0	0	0	0	0	0				
		千円/										
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	620303	安心ステーション推進事業費
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成21年度			から
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
「1中学校区に1交番(又は駐在)を設置する」方針を受け、北中学校区に交番設置要望をしたが、早期設置は難しい状況であるため、市営交番的な「安心ステーション」を設置。				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化している		変化した内容

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
			自治事務	→	根拠法令	なし
					この事務を行う根拠又は理由	北中学校区における市営交番的な「安心ステーション」を設置するため。
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由	
			結びつかない	→		
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容	
			できない	→		
			拡大	→		
			縮小	→		
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容	市全体の安心・安全につながる拠点施設として拡充する。
	できない	→				
	追加	→				
		→				
		絞込み				
(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容			
	多少影響がある	→				
	影響はない	→				
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	安心ステーション施設利用者に相談を受け、交通安全、防犯教室を開催することにより市民への啓発をすることできる。		
	できない	→				
(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業との再編の可能性	愛知県による交番設置		
	ない	→				
	庁内事業	→				
	庁外事業	→				
(8)現在の成果水準のまま事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容			
	ない	→				
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容			
	ない	→				
(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容			
	ない	→				
	現状で適正	→				
	検討が必要	→				
	受益者がいない	→				

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	安全で安心なまちづくりを目指すため、市営交番的な「安心ステーション」を設置し、警察官OB等を交通防犯指導員として採用し、警察とは違った立場から、交通安全や防犯パトロール業務の実施及び啓発業務、相談業務等を実施。					